

近代柔道杯2006.3.26

持田 達人

皆さん、おはようございます。

試合前で非常に緊張している時だとは思いますが、少しお時間をいただき、お話をさせていただきます。

さて、早速ですが皆さんに質問です。今までに柔道ルネッサンスという言葉はどこかで見たり聞いたりしたことがある人は手を挙げてください。コメント

最近よく耳にするこの柔道ルネッサンスとは、実際に何の意味でどんな活動をしているのかと聞いてみると、意味は、柔道の創始者である嘉納師範が柔道を始めた時の思いに立ち返り「柔道を志すもの全員が当たり前な事を、当たり前に行おう、世の中のルールやマナーをきちんと守ろう」という意味です。

では実際に、どのような活動をしているかということ、例えばこのような全国各地の大会を通じて皆さん知ってもらうためのスピーチ活動、また、大会、合宿等で使用した体育館を来たときよりも綺麗にしようというクリーンアップ活動、昨年は、2年前新潟を襲った中越地震、去年福岡を襲った福岡西方沖地震の被災者のための募金活動等、幅広く色々な活動をしています。

そこで、今日は皆さんにお願いがあります。皆さんも是非、この活動の趣旨を理解して今日から実践もらいたいと思います。

決して難しいことではありません、まず初めに、礼法をきちんと行ってください。

礼法には色々な意味があります。試合にかける思い、今まで練習してきた思い、将来の夢等、自分の豊かな心を相手にわかってもらう作法です。ですから、形だけの心の無い「礼」

ではなく、相手の目を見て、心のこもった「礼」をするようにしてください。

次に「挨拶」を元気よく自分からするようにしてください。挨拶には色々な意味が有ります。まず自分の心を開く、相手に近づく、感謝、尊敬の気持ちを伝えるという、コミュニケーションの基本が凝縮されています。

この二つ、「礼」と「挨拶」がしっかり出来れば、心と身体のバランスが取れた立派な柔道家、周りから尊敬され、頼りにされる柔道家に全員がなれます。早速、今日の試合から実践して下さい、お願いします。

最後になりますが、今日の会場に居るみんなが、大きな怪我、病気をせず、それぞれの「夢」を全員がつかみ、輝かしい未来を手に入れてくれることを祈念しスピーチを終わりたいと思います。

試合前の貴重な時間をいただきありがとうございました。試合頑張ってください。